

記入例



別記様式第1号

申請書を提出する日付を記入してください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

令和〇〇年度赤い羽根共同募金「公募助成事業」申請書

社会福祉法人 山口県共同募金会
周南市共同募金委員会 会長 様

申請をする年度を記入してください。

申請をする年度を記入してください。

申請を行う
団体名・代表名・住所・電話番号
担当者の氏名を記入して、団体又は代表の印を押してください。

団体名 周南募金の会
代表者名 周南募金 太郎 ⑨
住 所 周南市〇〇町1-2-3
電話番号 0834-11-1234
担当者名 共募 治郎

下記のとおり令和〇〇年度赤い羽根共同募金公募助成事業につきまして、関係書類を添えて申請いたします。

助成事業の概要	事業名称	ふくしの心開発事業
	助成希望額	200,000 円
	事業年度区分	単年度・継続事業（ 年度 ～ 年度 ）
	事業目的	福祉活動の実践発表や福祉講座を開催し福祉とは何かを学び伝え、福祉を知っていただき、ふくしの心を育むことを目的とします。
	事業対象者	周南市民（重点対象としては、小学生高学年）
	対象地域	周南市
	実施期間	令和〇〇年4月～令和〇〇年3月
	事業の具体的内容	実践事例及び講座用の資料として、教科書を作成し年2回開催を行う。 教科書の内容としては、講座用に社会福祉の目的や障がい者福祉及び高齢者福祉等の福祉の基礎を盛り込むほか、福祉用具等の使用方法などを掲載する。 実践事例については、実践発表を行う団体又はボランティアの方々に教科書へ掲載する内容を考案いただき作成を行う。

申請を行う事業について記入すること
事業の名称・助成の希望額・事業年度区分・目的・対象者及び対象地域・実施期間・事業の内容・効果予測。

事業対象者を幅広く取り持つことから、ふくしの知りたい、学びたいなど興味がある方に福祉の勉強をいただけること。また、重点対象に小学生高学年とすることから、福祉について学び、考え次世代を担う子ども達にもふくしの心を育むことができると予測する。

※助成事業の収支予算をご記入ください。

【収入の部】

収入 (財源内訳)	項 目	収入予定額	具体的な内容
	助 成 金	200,000円	赤い羽根共同募金公募助成事業助成金
	自 己 資 金	10,000円	会員自己負担 (500円×20人)
	その他資金	円	前ページの『助成希望額』を助成金へ記入すること。 自己資金及びその他資金がある場合は記入すること。
		円	
		円	
		円	
	合 計	210,000円	

【支出の部】

【項目】別表1 助成の対象経費の項目を記入すること。 別表1にない項目は、 その他と記入し内容に 詳細を記入すること。 支出 (経費内訳)	項 目	支出予定額	具体的な内容
	諸謝金 (謝礼)	20,000円	実践発表講師 (5,000円×4)
	旅費交通費	5,000円	講師及びスタッフの移動費
	消耗品費	1,000円	文房具・用紙・マグネット等
	印刷製本費	150,000円	教科書作成費用
	広報費	30,000円	開催チラシ作成費用
	通信運搬費	1,000円	講師依頼文・礼状切手代
	賃借料	1,000円	会場使用料
	保険料	2,000円	当日スタッフ及び参加者保険
		円	【支出予定額】及び 【その具体的な内容】 を記入すること。
		円	
		円	
	合 計	210,000円	

※「公募助成事業」実施要綱、第7条に掲げる別表1以外の経費については支出の項目へ『その他』と記入し、具体的な内容に詳細を必ず記入すること。

※収入支出同額のこと。

※貴団体の概要をご記入ください。

団 体 の 概 要	設 立 年 月 日	昭和〇〇年〇月〇日
	活 動 の 目 的	福祉に興味のある人々やまだ福祉を知らない人、福祉とはどんなことを行うのか 各界各層の様々な人々に福祉について啓発を行うことを目的とする。
	団 体 の 人 数	総数 20 名（旧市町単位に所属：徳山 7 名 新南陽 6 名 熊毛 4 名 鹿野 3 名）
	現在行っている主 な活動	活動目的を達成するために、以下の活動や事業を行っている。 ・福祉教育の実践（学校への訪問、ボランティア団体や福祉施設への訪問） ・ボランティア団体や福祉活動団体の紹介や橋渡し事業 ・福祉制度への相談実践

申請する団体の【設立年月日・活動の目的・団体人数・現在の主な活動】を記入すること。